

「令和7年度 幸せな国づくりセミナー ～デンマークの福祉から学ぶ～」を開催



県社協社会福祉法人経営者協議会、高齢者福祉協議会、障がい者福祉協議会は、10月13日、盛岡市のエスポワールいわてで会場に「令和7年度幸せな国づくりセミナー～デンマークの福祉から学ぶ～」を開催しました。

当日は、県内外から社会福祉関係者を始め、テーマに関心を持つ方150人余が集まりました。

セミナーでは、デンマークオーデンセ市障がい者福祉部のハッセヤコブセン氏が登壇し、バンク・ミケルセン記念財団の千葉忠夫理事長の通訳で、「地方自治体の障がい者福祉への取り組み」について講演しました。

デンマークの福祉制度は、収入の多少に関わらず誰もが皆同じサービスを利用できるように充実が図られてきており、障がいを持つ人のそれぞれのライフストーリーに併せた支援の様子が

などが説明され、参加者は「世界一幸せ」と言われる国デンマークの福祉事情に触れました。後半のシンポジウムでは、千葉理事長が座長となり、「広義に捉えるノーマリゼーション」のテーマで、我が国が世界一幸せの国になるためにはどうすれば良いかについて、岩手県立大学名誉教授でシニアフェローの宮城好郎先生や高齢者福祉協議会の畠山会長、障がい者福祉法人経営者協議会の熊谷会長が意見を出し合い、会場参加者とも意見交換する形で議論が展開されました。

今回のセミナーは、参加者とシンポジストとの意見交換も含め、熱気あるものとなり、予定時間を超過したものの、普段は触れることの少ないデンマークの福祉制度についての理解を深めるとともに、これからの我が国の福祉を考える良い機会となりました。

